



益 田 市

令和3年2月1日
報道発表資料

担当課名	五輪キャンプ誘致推進課
担当者名	潮、板井、池田、岩藤
電話番号	0856-31-0342
FAX 番号	0856-22-6606
E-mail	olympic@city.masuda.lg.jp

あすチャレ！ジュニアアカデミーについて

パラリンピックやパラスポーツを題材に障がい者の“リアル”を当事者講師から聞き、学び、一緒に考える“オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」”が、下記の日程により、吉田小学校で実施されることになりましたのでお知らせします。

1. 日 時
令和3年2月3日（水） 11：30～12：15（予定）
2. 場 所
益田市立吉田小学校 よつば1組
3. 講 師
山本 恵理（やまもと えり） 選手
（パラ・パワーリフティング女子 55Kg 級日本記録保持者）
4. 主 催
日本財団パラリンピックサポートセンター
5. 内 容
・ ワークショップ型オンライン授業
・ 別添「【オンライン版 あすチャレ！ジュニアアカデミー】当日の流れシート」参照
6. 取材対応について
・ 駐車場は、吉田小学校駐車場をご利用ください。
・ 当日は、受付で来客用名札を受け取り、マスク着用・手指消毒の上校舎内へお入りください。
・ 一部取材に配慮が必要な児童がいらっしゃいます。事前にお伝えいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
・ 取材に当たり、事前検温等新型コロナウイルス感染症の適切な感染リスク対策を講じたうえでの実施をお願いいたします。
・ プログラムの中で一部、撮影いただけない部分がございます。詳しくは「当日の流れ」をご参照ください。
7. その他
・ オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」について、詳しくは、別添「あすチャレ！ジュニアアカデミー メディア資料」参照

以上。

オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」プログラム＜講師：山本恵理＞（45分）
「当日の流れ」シート

【メディアの皆様へのお願い】



網掛部分の撮影はご遠慮ください。

時間	分	内容	実施のポイント
授業開始 5分前	—	各クラスZoomへ入室してください	スタッフと一緒に、音と映像の確認をします
授業開始	1	児童・生徒さん全員着席の上ジュニアアカデミーを開始します	スタッフの自己紹介、スタッフから講師を紹介の後、出てきます
1～3分	2	講師自己紹介	講師の自己紹介をします
3分～12分	9	障がいとは	障がいとは何かのお話をします
12分～19分	7	工夫の話	講師が生活の中で行っている工夫についてお話します ※クイズ形式ですので、「答え」についての紹介・記事化もご遠慮ください。
19分～26分	7	競技の話	講師の競技の話をします
26分～30分	4	リオのダイジェスト映像	
30分～35分	5	質問タイム	児童・生徒から質問を受け付けます
35分～38分	3	自分ができること	自分たちができることを考えてみます
38分～42分	4	Yes I can 動画	
42分～45分	3	あすへのチャレンジ！	あすへのチャレンジ！”あすチャレ！”を書きます
合計	45		

あすチャレ！ジュニアアカデミー メディア資料

記事、番組でご紹介いただける際には、主催「日本財団パラリンピックサポートセンター」、協賛「日本電気」または「NEC」という名称をお使いくださいますようお願いしております。事業名は「あすチャレ！ジュニアアカデミー」と表記ください。ご理解ご協力いただけますと幸いです。

内容にご不明な点がございましたら日本財団パラリンピックサポートセンター広報部までお問い合わせください。
(担当: 渡邊・松尾 TEL: 03-6229-3721 Mobile: 080-9895-3222 (渡邊) Mail: pr@parasapo.tokyo)

「あすチャレ！ジュニアアカデミー」とは

日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)が主催する「あすチャレ！ジュニアアカデミー」は、パラアスリートを中心とした障がい当事者講師から共生社会を学ぶ、小・中・高等学校向けワークショップ型出前授業です。講師との対話を通じ、児童・生徒1人ひとりが「自分には何ができるか？」を考える機会を創出します。スポーツを通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供する「あすチャレ！(明日へのチャレンジ)」プログラムの一つです。

2018年10月に開始した本プログラムは、2019年度には188回27,589名の児童・生徒が受講、2020年12月までの累計受講者は約4万人となりました。

2020年度は新型コロナ感染拡大の影響を受け、上半期の開催をすべて取りやめとしたものの8月にオンライン版を開講。現在まで、今年度実施予定で約200件の申込を受付けています。また、学校訪問については、「新型コロナウイルス感染症に対応したガイドライン」(QRコード参照)を策定し、安心・安全に配慮した準備を整えています。



<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/junioracademy/img/pdf/guidelines.pdf>

- プログラム構成: 障がい当事者講師のレクチャーを聞き、ワークショップを通じて学びを深める授業です。
- 実績: 2018年10月のスタートから2020年12月末までに345校(約40,000名)が受講
2018年度: 18校(1,916名) 2019年度: 188校(27,589名)
- 協賛: 日本電気株式会社(NEC)
東京2020大会のゴールドパートナーとして、誰もが社会の一員として安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指すNECより本事業に賛同いただき、事業実施に掛かる諸費用(備品の購入や講師の手配費用等)の一部を、NECの協賛金から拠出するなど、学校側の費用負担を極力少なくするためのサポートに充てています。

オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」の様子

コロナ禍においても共生社会への学びを止めないために、オンライン版を開始いたしました。講師と教室をライブで繋ぎ、WEB会議システムを利用して授業を行います。(小学校45分、中高50分)



オンラインでもリアルな授業と変わらない臨場感で講師と対話をしながら進めます

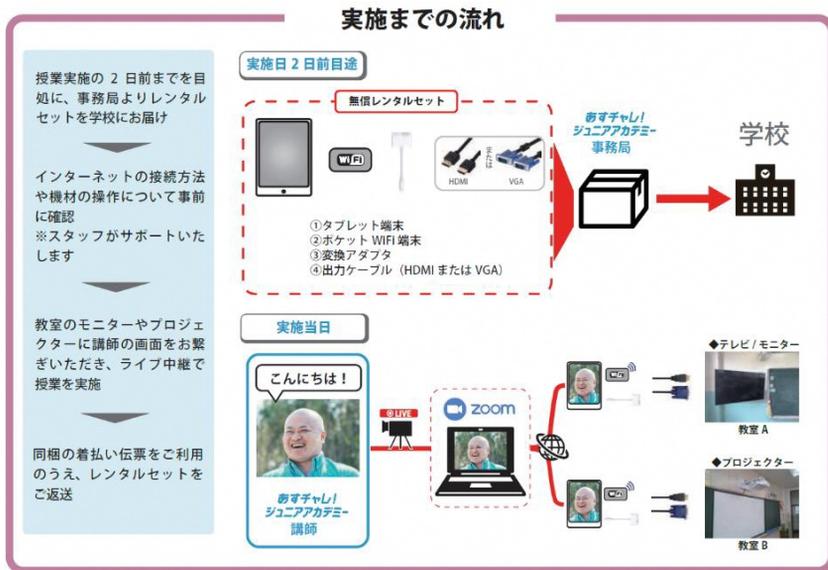


通信用のWiFiやタブレット、その他必要な機材はすべて追加費用なくレンタルします



講義の最後に、明日からチャレンジしたいこと＝「あすチャレ！宣言」を一人ひとりが掲げます

オンライン版実施までの流れ



- ①必要な機材は事務局から事前送付。学校にインターネット環境やタブレット端末等がなくても、受講可能です。操作方法は事前にスタッフがレクチャーいたします。
- ②授業に取り入れやすい45分間～道徳の時間や総合的な学習の時間等授業1コマに取り入れやすい45分完結プログラムです。
※中・高等学校は50分間
- ③費用は総額1万円(税込) 機材レンタル料、往復発送費用、講演料等すべてが含まれています。

出前(学校訪問)授業について

パラアスリートを中心とした障がい当事者講師によるレクチャーや各種障がいの体験、それを踏まえたワークショップを織り交ぜた、90分間の授業です。「障がい」とは何か？共生社会実現のために何が必要か？自分は何ができるのか？といった気づきを提供します。

※感染対策のため、ワークショップの内容等は一部変更がございます。



出前(学校訪問)授業の様子(2018年撮影)

プログラム概要

実施地域: 全国

実施対象: 小学校4年生～高校生の児童・生徒

申込期間: 随時受付(原則実施希望1か月前までに申込必要)

実施人数: ①集合授業の場合: 1学年～300人程度 / ②オンラインの場合: 100人程度 / 回

実施時間: ①集合授業の場合: 90分 / ②オンラインの場合: 45分(小学校)・50分(中学高校)

実施費用: ①集合授業の場合: 30,000円 / ②オンラインの場合: 10,000円

日本財団パラリンピックサポートセンターについて

「SOCIAL CHANGE with SPORTS」をスローガンに、パラスポーツを通じて、一人ひとりの違いを認め、誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン(D&I)社会の実現を目指しています。

設立以来、パラリンピック競技団体の運営支援をはじめ、パラアスリートや障がいのある当事者と一緒を知る、学ぶ、体験する、パラスポーツを活用したD&Iプログラムを展開し、2019年にはスポーツ庁長官表彰を受賞しました。

パラサポ公式サイト <https://www.parasapo.or.jp/>

「あすチャレ！」プログラムについて

「あすチャレ！」(明日へのチャレンジ)は、パラサポが提供するD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)プログラム。パラスポーツを通じて、多面的に物事を捉える大切さに気づき、見方や考え方が変われば、行動が変わり、社会が変わる。新しい価値観を生み出すユニークな教育・研修・講演プログラムです。

～他の小・中・高等学校向けの「あすチャレ！」プログラムはこちらです～

▼あすチャレ！ School

小・中・高等学校向けのパラアスリートから学ぶパラスポーツ体験型出前授業です。

デモンストレーション・パラスポーツ体験・講話の3部から構成される、90分間のプログラムです。

対象：小学校4年生から中学校、高等学校の児童生徒

実績：2016年4月のスタートから2020年12月末までに1,090校(161,535名)が受講

[あすチャレ！ School講師紹介、お申込みはこちらから](https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/)

<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>



2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催を予定していた学校での延期・中止が相次ぎましたが、「新型コロナウイルス感染症に対応したガイドライン」(QRコード参照)を策定し、これまで以上に実施希望校との連携を深め、安心、安全に配慮したプログラムへ変更しています。

<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/assets/pdf/guideline.pdf?0623>

新しいガイドラインを取り入れたプログラムの様子

体験プログラムは、児童生徒の接触の少ないシュート対決やリレーに変更。拍手や手話を応用した声を出さない応援を取り入れるなどの工夫をしています。

車いす操作を体験する生徒はマスクを着用、講師もマスクやフェイスシールドを着用します。



▼あすチャレ！ メッセンジャー ※オンライン講演も実施中！※

パラサポは、パラアスリートの総合的な能力向上支援の一環として、パラアスリート向けのスピーチトレーニングプログラム「あすチャレ！メッセンジャー育成プログラム」を2017年10月より開始、8期に渡り計67名が育成プログラムを修了しメッセンジャーに認定、さらに上位の応用プログラムでは計17名が認定されています。

認定者の活発な講演活動を支援するため、講演受付のためのWEBサイトを2018年度に開設。2020年12月末までに認定者が実施する講演を3万人以上が聴講しています。

[あすチャレ！メッセンジャー講師紹介、講演のお申込みはこちらから](https://www.parasapo.tokyo/messenger/)

<https://www.parasapo.tokyo/messenger/>

パラサポについてや「あすチャレ！」プログラム等に関するメディア様からの問い合わせは
日本財団パラリンピックサポートセンター広報部までお願いします。

担当：渡邊・松尾 TEL:03-6229-3721 Mobile:080-9895-3222(渡邊)

FAX:03-6229-3722 Mail:pr@parasapo.tokyo